

年 組 名前：

円安加速 32年ぶり150円台

円安が進み、10月20日の東京外国為替市場で一時1ドル=150円台を付けました。バブル景気終盤の1990年8月以来32年ぶりで、今年初めからの下げ幅は約35円に及びました。さらに21日には151円台を記録。記録的な円安はアメリカの大幅利上げの継続姿勢に加え、新型コロナウイルス禍からの景気回復が遅れる日本経済の弱さを反映。輸入品の価格上昇に伴う物価高がさらに進みそうです。市場関係者は、政府と日本銀行による円買いの為替介入に注目しています。ドルに対する円の価値は東日本大震災後の2011年10月に付けた戦後最高値の1ドル=75円32銭と比べると、ほぼ半減した計算。1ドルを手に入れるのに75円程度で済んだのが、今は150円必要になった状況で、円の価値が下がるため「円安」といいます。



円相場が急落し、一時、1ドル=150円台を付けた円相場を示すモニター＝東京・日本橋茅場町

(2022年10月27日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)

問1 円安とは、どのような状況のことを言いますか。

.....

問2 今までの、円の最高値は1ドルが何円でしたか。

.....

問3 円安のメリットとデメリットを、考えて書いてください。

メリット： .....

デメリット： .....